

むすぶ27

弥彦村社会教育だより

令和4年12月23日
弥彦村社会教育委員の会

《あいさつ運動強調旬間》

弥彦村社会教育委員の会では、5ヵ年計画を立てて、弥彦村のあいさつを推進しようと「あいさつ運動」を展開しています。

昨年は、まずご家庭からあいさつを習慣付けてほしいと考え、村民の皆さんにあいさつ標語を募集して上位3名の入賞作品を短冊にして村内全戸に配付しました。

今年は、昨年同様に「あいさつ運動チラシ」を村内全戸に配付し、運動の周知を図りました。そして、11月9日（水）～18日（金）を「あいさつ運動強調旬間」に位置付け、新たな取組を行いました。

まず、運動期間中の毎朝6時半に、防災無線により村民の皆さんに協力をお願いするための呼びかけを行いました。

そして、地域の皆さまにあいさつをより意識して頂きたく、弥彦村内のバス停や道路脇にあいさつのぼりを立てました。お気づきになられたでしょうか。

さらに、小学校、中学校の朝の登校時に学校玄関前で、実際にあいさつ活動（声掛）をしました。社会教育委員と学校運営協議会委員、役場職員、そして小林村長が、子どもたちとあいさつを交わしました。進んであいさつする子、元気よくあいさつを返してくれる子、恥ずかしそうにしながらあいさつしてくれる子・・・あいさつの仕方はそれぞれですが、ほとんどの子どもたちがあいさつをしてくれ、私たち大人は、子どもたちから元気をもらいました。

強調旬間を終えて、あいさつ幟の撤収作業をしている時に「もう片付けてしまうの？まだ立てていてもいいよ」と声をかけてもらいました。あいさつ幟が無くなっても、今後もあいさつを意識して実際に声に出して誰とでも「明るく、元気で、爽やかな」あいさつのできる弥彦村になってほしいと思います。そのため、社会教育委員の会では、今後も活動を続けてまいります。

（文責 東樹）



のぼり



小学校でのあいさつ活動



中学校でのあいさつ活動

《『弥彦村文化芸能祭』 3年ぶりに開催される!》

毎年、秋に弥彦総合文化会館で行われていた『弥彦村文化芸能祭』が、3年ぶりに開催されました。今回は、「芸能の部」と「作品展」が、会場と日時を変えて行われました。

「芸能の部」は、初めてヤホールを使って、10月22日(土)の12時から15時の日程で開催されました。初めて使用する会場・ステージで、久しぶりの芸能披露ということもあり、午前中のリハーサルから熱が入っていました。当日は、時々小雨の降る天候でしたが、6団体の皆さんが出演し、日頃の練習成果を遺憾なく発揮して、唄、楽器、踊り等を披露しました。多くの方々がヤホールを訪れ、弥彦村の文化芸能を鑑賞していました。演者の皆さんは、「久しぶりの披露で緊張した。」「とにかく発表できてよかった。」「ヤホールは使いやすかった。」等と話されていました。以下は、当日の発表内容です。

出演団体	演目・曲目
1 琴城流大正琴山彦会	①おぼろ月 ②さくら変奏曲 ③夕焼け雲 ④ふるさと
2 弥彦吟詠会	①静御前 松口月城(俳句、和歌、漢詩) ②弥彦を愛す 山田岳堂
3 弥彦村民謡協会	①天命 ②大阪すずめ ③夜桜 ④相川音頭 ⑤佐渡おけさ
4 矢作里神楽保存会	①宮清祓 ②神勇
5 よさこい添弥	①彌彦大祭
6 一之宮姫太鼓	①和太鼓演奏「やひこのまつり」
7 西蒲バラの会	ヤホール内にバラの花を展示

「作品展」は、11月26日・27日(土・日)にコミュニティセンターを会場に行われました。これまでの会場だった総合文化会館とは違い、のびのびとした展示が行われました。以下は、当日の内容です。

出演団体	作品内容
1 絵画クラブ「遊」	会員の自由作品
2 キルト・ぷらざ	色とりどりの布地を生かした作品
3 盆栽国風会	山野草や盆栽
4 弥彦書友会	子どもから大人までの作品
5 弥彦手仕事倶楽部	わら細工や竹細工の古民具
6 弥彦村王将会	将棋大会
7 弥彦村囲碁クラブ	囲碁大会

文化協会では、来年度もヤホールとコミュニティセンターを会場に、もう少し早い時期に芸能発表を行う予定だと話されていました。(文責 石塚)



琴城流大正琴山彦会の演奏



キルト・ぷらざの作品

《スポーツ少年団紹介No.5：サッカー少年団》

スポーツ少年団紹介の第5回は「サッカー少年団」です。

弥彦村での設立は2002年で、公民館主催のサッカー教室がスタートでした。初日に集まったのはたった3人でしたが、半年ほどが過ぎた頃、日韓ワールドカップの開催や、アルビレックス新潟のJリーグ参戦も重なって、サッカー不毛の地と言われた新潟県でも、一気にサッカー熱が上がり、一時は70人ぐらまで増えました。そのため、サッカー少年団の結成となったそうです。しかしながら、その後、子どもの数が徐々に減少したこともあって、現在は1～2年生が7人、4年生が7人、6年生が6人の20人程で練習しているとのこと。ただ、練習日が週に3～4日あるため、保護者の送迎の負担や他の競技と掛け持ちが難しく、なかなか人数が増えないそうです。

【練習日】 火・水・金 午後7時～9時
土 午前9時～12時

【練習会場】 大戸多目的広場

【雨天会場】 サンビレッジ弥彦・弥彦体育館など

取材に伺ったこの日は、屋内で低、中、高学年ごとに別メニューの練習をしていました。コーチ陣は村外の方もおられ、熱心に指導してくださっていました。

サッカー競技は組織がきちんとしており、弥彦の少年団は、中越地区の三条ブロックに所属しているそうです。公式大会は、三条市のパール金属スタジアム隣接の多目的広場などを中心に、燕市や加茂市などでも開催されますが、指導者のお話では、「練習では、運動が苦手な子でも頑張れるように指導しているが、試合になると『絶対勝ちたい』という気持ちが子どもたちから自然と起こってくるのです」とのことでした。

冬季間は、「フットサル（1チーム5人で出場する室内サッカー）」が主体となり、公式大会に参加するほか、足元の技術向上に向け交流会も盛んに行われているそうです。中学生になってもサッカーを続けたい子は、学校に部活動が無いので、新潟市、燕市、三条市などの地域のサッカークラブに所属し、活動している子どもも多いとのこと。

2022年ワールドカップカタール大会で、日本は予選リーグでドイツとスペインに勝って決勝トーナメントに出場したことで非常に盛り上がりました。弥彦村でもサッカーに夢中になる子どもたちが増えることを願っています。（文責 柏原路）



現在のメンバー



フットサル練習風景

《子育て講座・講演会のお知らせ》

近年の幼児の育ちについては、「基本的な生活習慣や態度が身につけていない」「他者とのかかわりが苦手」「自制心や耐性、規範意識が十分に育っていない」などの課題が指摘されています。また、小学校1年生などのクラスにおいて、「学習に集中できない」「教員の話が聞けずに授業が成立しない」など学級がうまく機能しない状況が見られます。問題を抱える親は、もっと上手く子育てできなかったかと悩みます。

思春期になると、子どもたちは「自立」が求められていることを分かってきます。この時期は、「親と子どもの距離感を再構築するため、互いが試行錯誤する準備期間」と言われます。親は、自立してほしいが全てを信用して任せられないという矛盾を抱えます。そのため、コミュニケーションがうまく取れなくなったりします。

いずれの年代でも、大切なことは、共に適切な距離感を模索し、向き合い続けることです。小手先のノウハウで一喜一憂せず、適切な距離感を保つ親の学びに参加しませんか。

(文責 堀)

講師は、いずれも土田 陽子氏（NPO法人ハートフルコミュニケーション）です。

- (1) 講座1「もっとニコニコ親子になるために」
 - ・期日：1月16日（月）10：00～11：00
 - ・会場：子育て支援センター
 - ・対象：乳幼児の子育てに興味がある人 定員 親子10組程度
 - ・内容：座談会形式で、乳幼児期の子どもの心を育てる関わりについて話し・聞き・学ぶ。子どもと一緒に参加できる。
- (2) 講座2「思春期のトリセツ」
 - ・期日：1月22日（日）10：00～11：30
 - ・会場：農村環境改善センター
 - ・対象：思春期の子育てに興味がある人 定員40人
 - ・内容：思春期を理解し、この時期の子どもへの関わり方を考える。子どもが豊かに成長するために、親にできることをみつける。
- (3) 講演「子どもの心のコーチング ～子どもの幸せな自立のために親ができること～」
 - ・期日：3月11日（土）10：00～12：00
 - ・会場：農村環境改善センター
 - ・対象：思春期の子育てに興味がある人 定員40人
 - ・内容：思春期は、子どもが精神的に自立するために大切な過程であり、親の接し方ひとつで、子どもが自分で考えて自分で人生を切り開いていくチャンス。

申込

弥彦総合文化会館に電話（94-4311）FAX（94-4312）で
申込ください。（氏名、住所、連絡先電話番号）

※詳しくは、保育園、小・中学校保護者配付のチラシをご覧ください。

村ホームページからチラシをダウンロードできます。

委員長	渡辺 和也（矢作）	副委員長	柏原 路子（麓二区）
委員	半間 義之（矢作）	石井 亘（井田）	阿部 朗子（弥彦）
	柏原 貴也（麓二区）	石塚 孝也（矢作）	東樹 薫（美山）
	高田 美鈴（弥彦）		

事務局 堀 隆行 ・ 白井 宏侑（教育課）

※ ご意見、お聞きになりたいことがある方は、近くの委員、もしくは、
教育課事務局にお電話ください。（事務局94-4311）